

# 手ゼリ融合システムの詳細を発表

## 7月6日のサービス開始に向け着々と環境整備

日産大阪オートオークション（大阪市此花区・吉岡末治社長、NOAA）は5月25日、「お客様感謝祭オークション」を開

催した。セリ開始前のセリモノでは吉岡社長が7月6日開始予定の「手ゼリ融合システム」の概要を説明し、来場会員に

リの実施といった運営準備に入る。

同システムは、NOAAの特徴でもある手ゼリの良さを残しながら、外部応札を組み合わせることで、バイイングパワーのさらなる強化につなげるもの。当初はアイオークとオートサーバーの2社について、「不在入札」が可能となる予定。また、

オークション（RCA）を導入し、自社ネット会員を募る（入会金・年会費が無料）。RCAを通じたリアル応札と不在入札も当初から可能となる予定で、スマートフォン（スマホ）やタブレット端末からセリに参加できる。

6月22日と29日のAAでは、融合システムのトリアルを実施する。来

のAAから新しい下見システムに移行する。車両画像がこれまでの3枚から5枚に増え、内装画像などが追加となるほか、撮影室の新設により、従来の3倍の照度でストロボ撮影し、鮮明な画像が掲載される。

場会員とコンダクターの新システムへの円滑な移行につなげる。

7月6日のサービス開始に合わせて、評価点制度を導入し、外部応札に対応する。

オートサーバーからのリアル応札対応など、今後のサービス拡充についても今下期をめどに対応していく方針だ。



新たに撮影室を設けた

スタートに向けた協力を呼びかけた。手ゼリと外部応札を組み合わせた独自のオークションを行うもので、スタートに向けたシステム構築を急ぐほか、6月後半には模擬セ

レイシスソフトウェアサービス（大阪市中央区・小野逸二社長）の提供するアプリ「リアルカー

同システムへの移行に際し、同社インターネットホームページ（HP）刷新も行う。6月15日開催のAA終了後に新HPに切り替わる。6月22日



吉岡社長自ら手ゼリ融合システムを説明